

行政事業レビューシート (厚生労働省)

予算事業名	感染症情報センター経費	事業開始年度	平成9年度	作成責任者		
担当部局庁	国立感染症研究所	担当課室	総務部会計課	課長 星野 真		
会計区分	一般会計	上位政策	-			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(感染症法)第12~16条	関係する計画、通知等	感染症法の施行に伴う感染症発生動向調査事業の実施について(平成11年3月19日健医発第458号保健医療局長通知)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	感染症法に基づく感染症発生動向調査における中央感染症情報センターの運営を図り、様々な感染症情報の収集、分析及び公表を行って感染症対策に資する。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	(1)サーベイランス(感染症監視)事業 1. 感染症発生動向調査システム運用と週報編集発行 2. 病原体検出情報システム運用と病原微生物検出情報編集発行 (2)感染症予防治療情報システム事業 感染症にかかる治療情報等のwebによる発信					
実施状況	病原微生物検出情報(月報)、感染症週報(週報)などを定期的に発刊し、感染症情報センターホームページなどを利用し情報の還元提供をおこなった。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	74	74	74	34	47
	執行額	74	74	45		
	執行率	100.0%	100.0%	60.8%		
	総事業費(執行ベース)	74	74	45		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	病原微生物情報の印刷等会計法に則り一般競争または競争見積による随意契約によっている。結核感染症サーベイランス情報管理システム賃借料は、平成21年度再リースとしたため、大幅に経費が削減できた。				
	見直しの余地	年間を通じて購入が予定される消耗品等の一括購入等、更なる効率的な予算執行を図る。				
予算監視の・効率化	21年度の執行状況を踏まえ、平成22年度に見直しを行っており、引き続き、効率的な執行に努めること。					
補記						

(1) 感染症サーベイランス事業

国立感染症研究所
40百万円
感染症サーベイランス事業の実施

【一般競争契約】

A. 瑞穂印刷
10.83百万円
病原微生物検出情報の印刷

【随意契約】

C. 医学予防推進センター
1.62百万円
病原微生物情報の配布

【一般競争契約】

B. 凸版印刷
7.33百万円
感染症発生動向調査週報のPDF化

【随意契約】

E. 富士ゼロックス・コニカミノルタ
ビジネスソリューションズ
1.47百万円
電子複写機の保守・消耗品等料金

【随意契約】

D. NECキャピタルソリューション
1.26百万円
結核感染症サーベイランス情

うち事務費17百万

(2) 感染症治療情報システム事業

国立感染症研究所
5百万円

うち事務費5百万円

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

A.瑞穂印刷			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
印刷製本費	病原微生物検出情報の印刷	11			
計		11	計		0
B.凸版印刷			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	感染症発生動向調査週報のPDF化	7			
計		7	計		0
C.医学予防推進センター			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	病原微生物情報の配布	2			
計		2	計		0
D.NECキャピタルソリューション			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
電子計算機等借料	結核感染症サーベイランス情報管理システム借料	1			
計		1	計		0

(1) 感染症サーベイランス事業

	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
予算額(補正後)	47	47	47	31	
執行額	47	47	40		
執行率	100.0%	100.0%	85.1%		
総事業費(執行ベース)	47	74	40		

(2) 感染症治療情報システム事業

	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
予算額(補正後)	27	27	27	3	
執行額	27	27	5		
執行率	100.0%	100.0%	18.5%		
総事業費(執行ベース)	27	27	5		